



の がき 野垣あきこ とまちづくりカフェ

子ども・暮らし・平和



2024年3月6日 No.179

連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

災害に強いまちづくり

首都直下型地震に備えて 杉並区の震災対策を前へ

2月14日の杉並区議会第1回定例会本会議で、党区議団の小池めぐみ議員は杉並区の震災対策について質問しました。
「首都直下型地震による死者0を目指す」震災対策

杉並区は現在、地域防災計画の見直しをおこなっています。2021年に東京都防災会議が発表した被害想定では、杉並区は下記のようになっています。

家具転倒での死者をなくす

区は、高齢者のみの世帯、障害者や難病患者のいる世帯向けに「家具転倒防止器具の設置助成」を行っています。この制度を回覧板や福祉事業者などでも周知するように求めました。

これに対し、区は、積極的な周知を図り、設置の促進につなげていくと答弁しました。

不燃化まちづくりの促進を

不燃化特区ではこれまで、老朽化建物の解体に最大150万

建物全壊棟数	3, 223棟
半壊棟数	10, 676棟
消失棟数	10, 342棟
死者数	316人
避難所避難者数(1日後)	104, 098人
帰宅困難者数	51, 411人

円の助成金、その後建物を新築する際の設計費用に最大100万円の助成を行ってきました。来年度拡充される不燃化特区の新築建物への助成内容を質しました。

区は、来年度より新たに、新築の工事費に対しても助成すると答弁しました。(例えば延床面積100平米で準耐火建築の場合70万5千円)

避難所の環境整備の準備を

エコノミークラス症候群による災害関連死や感染症を防ぐためにも避難所での段ボールベッドの配備は必須です。区は事業者

と協定を締結しましたが、実際にどれぐらいの数をどの程度の日数で配備できるのか、要配慮者分だけでも区内施設に備蓄が必要ではないかと質しました。

区は、発生時の状況によるため協定書に数値は盛り込んでいないが、おおよその目安を協議していく、段ボールベッドは区内の施設への備蓄は困難だが、エアーマットを各震災救援所に400枚ずつ備蓄していると答えました。

現在避難所に備蓄されているマンホールトイレは和式10台、洋式5台ですが、子どもや高齢者には使いにくいいため、全て洋式を目指すべきではないかと質しました。

区は、高齢者が使いやすいよう、今後の入れ替えの際には洋式を導入すると答弁しました。

火災被災者への支援について

この冬は中央線沿線などで住宅や商店での火災が相次ぎました。対策として罹災証明書の発行のし方を区のホームページに掲載することや、火事で焼け出された人のために区がホテル代を支援することを求めました。

旧若杉小の既存校舎 耐震などの調査の結果が報告される



▲旧若杉小跡地

旧若杉小学校既存校舎の躯体状況調査の結果について（区HPより）▶



2月27日に行われた総務財政委員会で、旧若杉小学校既存校舎の躯体状況調査の結果について報告がありました。

旧若杉小の校舎の状況は？

既存校舎は耐震性能に影響を及ぼす劣化は見られないとのこととで、全体を活用する場合の改修工事費は15～17億円程度を要すると見込まれています。

現在暫定活用している施設のうち、移転先を検討中の施設（さざんか教室、重度心身障害児通所施設わかば）等が引き続き残る可能性も考慮し算出しています。

しかし、改修工事を行った場合、工事完了時に最も古い校舎は築60年を超える可能性があり、長寿命化方針で定める目標使用

年数の築80年までの有効活用期間は20年程度となります。また、耐震性能の維持のため、壁など構造躯体の撤去を含む間取りの変更はできません。

区は、この調査結果を踏まえ、既存校舎を活用するか解体するかなどの検討を行い、今年度中を目途に方向性を整理します。

本格活用は住民とともに

旧若杉小跡地をめぐっては、山田区政時代に廃校となり、前・田中区政時代の12年間は本格活用の検討はほとんどされず、区立施設再編整備計画で玉突き移転する施設の調整の場となってきた経緯があります。

岸本区政は、施設利用者や地域住民等と共に考えながら旧若杉小跡地の本格活用を進めていく方向で、来年度からワークショップや地域意見交換会を行う予定です。

住民からは、震災救援所の拡充、文化芸術の拠点にして欲しい、地域に集会所が激減した（ゆうゆう天沼館や天沼地域区民センターなど）ため、集会所施設に、等の声があります。みなさんのご意見をお寄せください。

能登半島地震救援募金

にご協力をお願いします。

募金は中央委員会を通じて全額を被災地と被災した自治体への支援に充てます。

郵便振替 口座番号
00170-9-140321
加入者名
日本共産党災害募金係
通信欄に[能登募金]と記載のこと。

地域のこと、政治のこと
なんでも喋ろう！

みんなのつどい



3月23日（土）13時半～
ウェルファーム杉並3階

参加費無料

原田あきら都議、野垣あきこ前区議も参加

あきらの部屋

まだまだ寒い日も続きますが、暦の上では春。花粉症の季節でもあります。私は二十歳頃から花粉症になり、酷い年は薬を飲むこともあります。耳鼻科など処方される薬はよく効きますが眠くなったり、人によっては飲み続けると太る場合もあるようです。一方で「眠くならない」と宣伝する市販の薬もあります。効果が弱いと言われます。

スギが少ない沖縄では花粉症はほとんどないそう羨ましい

限りですが、東京ではそうはいきません。花粉が付着しやすいウールのセーター等を避けたり、生活習慣を見直し免疫を上げることも大事だと思います。

食事では発酵食品が良いようです。少しでも免疫アップ出来ることを信じて、納豆やぬか漬かけを意識して食べています。

年齢を重ねるにつれて、症状は改善している気がしますが、「麻痺しているのでは？」とも言われ微妙な心持ちです(笑)